

<b>みよし市</b>		所属議員	渡邊郁夫、田中祐二
【活動選定項目】 国・県・市町で取り 組むテーマを設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上		④ 地域への貢献活動 (例：部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)
具体的活動 (調査・研究含む)	<b>1 2 月 一般質問「カーボンニュートラルへの取り組み」</b> 質問者：田中祐二 【質問】「①自動運転の実証実験と水素社会の実現に向けた市の考え方について」 【要旨】① 自動運転の実用化により安全性の向上や運送効率の向上新たな相通サービスの創出等が図られ千三工場に資 することが期待される。特に少子高齢化によるトラックやバスタクシーの運転手不足への対応や高齢者の免許返納後の移手段 の確保が近年大きな社会問題にねっている。③水素の活用は幅広い分野での活用が可能であることや使用時に CO2 の発生が 無く貯蔵と運搬が比較的容易であることなどからのカーボンニュートラルの中核を担うもの。 【当局の回答】①みよし市の一部の区域においてトヨタホーム×トヨタ自動車の連家による次世代モビリティの実証実験を行う協 議を進めている。今後も本市の特徴を活かした自動運転実施を各企業に等に働きかけるとともに関係機関との調整に積極的 に関わってきたい。③県経済産業局内に水素社会実装推進室が設置されみよし市と連携を図り水素社会の実装に向けた取り 組みを推進していきたい。		【図や活動の様子が分かる写真など】 【実証実験が協議されている開発地】 
選択した項目 テーマ ①②			
今後の活動	・今後は事業者へ事業用車両購入や設備導入への費用を支援対象にすることなどを国県と連携し更なる取り組みを検討していく。		

<b>みよし市</b>		所属議員	渡邊郁夫、田中祐二
【活動選定項目】 国・県・市町で取り 組むテーマを設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上		④ 地域への貢献活動 (例：部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)
具体的活動 (調査・研究含む)	<b>令和 5 年度補正予算「物価高騰に対する給食費等の無償化」</b> 所属する委員会にて提言 <b>物価高騰対策給食費</b> 無償化支援事業民間保育園 4 園、小規模保育園 2 園と市内幼稚園 6 園と市民が利用する市外保育園幼稚園に対し 1 食 あたり保育園の給食費相当を支援金として交付します。【対象者】みよし市民で、国基準及び市基準（第 2 子及び 3 6 0 万 円未満）による既減免者を除く市内外園児【期間】令和 6 年 1 月から令和 6 年 3 月分まで【支援額】幼児：4200 円 X 3 か月乳児：3060 円 X 3 か月 <b>小中学校給食費無償化事業</b> 国交付金を活用して物価高騰の保護者負担軽減のため給食費小学生食材費 290 円（内市費 50 円）中学生食材費 3 30 円（内市費 70 円を無償化します。【対象者】市が給食を提供している全児童生徒【期間】令和 6 年 1 月から 3 月分まで <b>高校生世代物価高騰対策支援事業</b> 国の重点支援交付金を活用して物価高騰による高校生世代の家庭における負担軽減を図るため各家庭におこめ券を配布し家 計支援を行います。【対象者】H20 年 4 月 1 までに生まれた 高校生世代【おこめ券】10 枚（4400 円分）【配布スケジュール】広報で周知し 2 月上旬発送予定		【図や活動の様子が分かる写真など】 
選択した項目 テーマ ⑤			
今後の活動	<b>【効果検証】</b> ・今後も引き続き物価高騰が懸念される。給食費無償化の継続や恒久化を検討し提言をしていく。		